

国際理解教育/開発教育 学習指導（活動）案

【実践者】

授業者氏名	藤井 三和子	学校名	兵庫県立神戸商業高等学校
教科（科目）・領域	コミュニケーション英語Ⅱ	対象学年（人数）	2年3組～5組（115名）
実践年月日もしくは期間（時数）	2021年 10月 ～ 12月（ 3 時間）		

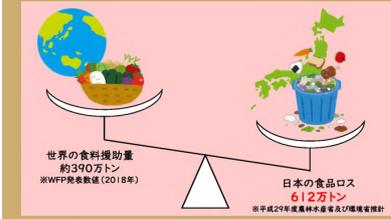
【実施概要】

1. 単元名(活動名) : SDGsを通じて知る「飢餓」					
2. 実践する教科・領域 : 英語	3. 学習領域				
		1	2	3	4
	A 多文化社会	文化理解	文化交流	多文化共生	
	B グローバル社会	相互依存	情報化		
	C 地球的課題	人権	環境	平和	開発
D 未来への選択	歴史認識	市民意識	社会参加		
4. 単元の目標（評価規準を意識して設定）： 夏休みの課題“What’s Up?” 第6章のIs There Enough Food for Everyone?” の内容を基に、SDGsの「飢餓をゼロに」のテーマを中心に現代的な地球規模の問題を理解するとともに、自分たちの生活からの視点で、考え、意見を発信できる。					
5. 単元の 評価規準	①知識及び技能	SDGsの概要を理解している。テーマとなる基本的な概念の英語を理解する(sustainable, poverty, など)。			
	②思考力、判断力、表現力等	読んだり、視聴したりすることを理解し、積極的に発表できる。			
	③学びに向かう力	課題に対して、深く思考や議論を進め、「なぜ」という問いを考えようとする。			
6. 単元設定 の理由・単元 の意義 (児童/生徒観、教材観、指導観)	<p>【単元設定の理由あるいは単元の意義】</p> <p>地球規模の課題である「貧困」や「飢餓」に漠然と関心を持つ生徒に、夏休みの課題英語読本”What’s Up?”を読むことをきっかけに「貧困」や「飢餓」という言葉の意味することを自分の生活する世界と関連させて考えることは、教科の学びとして、英語の技能を高めることだけにとどまらない意義がある。今回は、「飢餓問題」に絞り、英語の言語活動を通して、SDGsの課題を考える機会として実施する。</p> <p>【児童／生徒観】</p> <p>商業高校の生徒で、2年生である。現在のところ、就職を中心に考えている生徒のクラスである。素直に、指示されたことはでき、話を聞く姿勢もある。しかし自分自身での成功体験が少なく、自信が持てない生徒が多い。英語は苦手意識を持つ生徒が多いが、好奇心は旺盛で、授業の展開を工夫することで、生徒の思考や意識を引き出すことは可能であると考えている。ただ、今回のテーマで、自分にできることはという問いに関して、家族のために家事を手伝うということを書き記述する生徒が複数いた。そのような視点から地球市民的な視点を持つことの意義に気づかせることが第1歩であると考えている。</p> <p>【教材観】</p> <p>夏休みの課題で使用した、桐原書店”What’s Up?”は様々な現代社会のトピックの英文が収められており、それぞれがSDGsにどのように関連するかの問いかけがあるものである。その中で、第6章の“Is There Enough Food for Everyone?”をとりあげて、「飢餓」について、考える機会を提供したい。</p>				

	<p>【指導観】</p> <p>今回の生徒たちの授業はコミュニケーション英語Ⅱの授業の中で行うが、これは、3単位、週3時間の授業である。夏休みの課題として、英語の読本を読み、付属の問題集で内容理解と、文法事項の確認をしているが、別の課題として、「SDGsって何だろう？」というワークシートを提出することになっていた。力作が多く提出されたことから、SDGsへの関心の深さを感じるが、実際のところ、表面上の理解にとどまっている可能性が高い。生徒からももっと知りたいという声も上がっているため、地球市民教育の視点からのSDGsの理解を促せる情報を伝えたい。</p>														
7. 単元計画 (全 4 時間)															
時	ねらい	学習活動	資料など												
1	<p>①「飢餓」とは「飢餓」などの概念について、SDGs と関連させて、内容を理解する。</p> <p>②夏休みの課題ワークシートの紹介</p> <p>③SDGs について学ぶ</p>	<p>動画を見る。</p> <p>②5人グループに分かれて、各班で、作成してきたワークシートを、班員に説明する。最後に各班の代表1名が、グループでの発表の様子を発表する。</p> <p>③SDGs についての動画を観る</p>	<p>国連広報センター</p> <p>「持続可能な開発目標：誰も置き去りにしない」</p> <p>https://www.youtube.com/watch?v=yEQJzdrYIcM</p> <p>(SDGsの始まりと意義を地球規模の人々の声を基に力強い主張で訴えている動画)</p> <p>生徒作成の課題のワークシート</p> <p>「国連SDGsって何だろう」(日本語)</p> <p>https://www.youtube.com/watch?v=UoCaAKgFk64</p> <p>(国連WFP制作のSDGsの基本を学生向けに解説した動画)</p>												
2	<p>④テキスト第6章 Is There Enough Food for Everyone? の文章に出てくるキーワードを理解する。</p> <p>Hunger Map・Global Distribution of Income の図を理解する。</p> <p>テキストの内容と「飢餓をゼロに」のSDGsの目標との関連を理解する。</p> <p>⑤次回の予告</p>	<p>④</p> <p>Hunger Map・Global Distribution of Income の中に出てくる、国名やキーワードを日本語に訳す。</p> <p>2つの図の説明を聞く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>No one will be happy until everyone has food to eat.</p> </div> <p>この英文を訳し、everyone が誰を指すかを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ZERO HUNGER</p> <p>飢餓をゼロに</p> </div> <p>この英文の zero の意味を考え、テキストの内容との関連を分析する。</p>	 <p>The richest fifth receives 82.7% of total world income.</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Income Share</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>The richest fifth</td> <td>82.7%</td> </tr> <tr> <td>11.7% of income</td> <td>11.7%</td> </tr> <tr> <td>2.3% of income</td> <td>2.3%</td> </tr> <tr> <td>1.9% of income</td> <td>1.9%</td> </tr> <tr> <td>1.4% of income</td> <td>1.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>Each horizontal band represents an equal fifth of the world's people. 出典: UNDP Human Development Report 1992</p>	Income Share	Percentage	The richest fifth	82.7%	11.7% of income	11.7%	2.3% of income	2.3%	1.9% of income	1.9%	1.4% of income	1.4%
Income Share	Percentage														
The richest fifth	82.7%														
11.7% of income	11.7%														
2.3% of income	2.3%														
1.9% of income	1.9%														
1.4% of income	1.4%														

<p>3 本時</p>	<p>前時の復習 SDG s の2 「飢餓をゼロに」のテーマで、「飢餓」が自分たちの生活とどのようにつながっているか、自分たちの行動がどのように影響を及ぼすことができるかを考え、発表する</p>	<p>Hunger Map・Global Distribution of Income について、ALT より説明を聞き、ワークシートに記入する。</p> <p>4~5 人のグループでの話し合い活動を行う。</p> <p>[展開①] SDG s に関連する動画を見る。 グループでの話し合いを行い、意見を付箋に書いて、共有する。</p> <p>[展開②] 配布資料を見ながら、「飢餓」問題について、話し合い、意見を付箋に書く。 「行動」として、できることを考え、意見を共有する。自分の周囲の世界から、地球規模の課題を考える。</p>	<p>8.本時の展開参照</p>
<p>4</p>	<p>まとめ これまでの3回の授業を踏まえて、振り返り (①~③) ①あなたにとって飢餓とは? ②飢餓のない世界とはどんな状況でしょうか? では、 ③あなたにとって、「飢餓をゼロに」の目標に対してどのように行動できますか?</p>	<p>同じグループでの話し合いを行い、意見を発言する。</p> <p>①~③のテーマで各自が考えをまとめる。</p>	<p>個人のワークシート 事後アンケート</p>

過程・時間	教師の働きかけ・発問および学習活動	指導上の留意点 (支援)	資料(教材)																		
導入 (8分)	<p>Today's Topic を黒板に貼り、説明する。</p> <div data-bbox="550 436 837 616" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">Today's Topic</p> <p>これまで2回の授業でSDGsの「Zero Hunger」について学んできました。今日は次の内容でさらに深めていきます。</p> <p>①Athenaさんの資料で飢餓について英語で復習します。 ②2つの動画を見て世界の課題を見て・知って・考えます。 ③紹介する資料をもとに、日本の、私たちの課題を考えます。 ④自分で考えたことをグループ内で出し合い共有します。</p> </div> <p>1. Hunger Map・Global Distribution of Income について、ALTより英語で解説する。 ALT:前述のグラフの説明のpptを使い、解説と簡単なQ&Aを行う。 JTEは日本語で一部理解できない部分を説明する。 生徒は、各グループでワークシートに相談しながら、Q&Aの回答を記入する。</p>	<p>(クラスを4～5名のグループに分け、代表と記録を2名決める。代表者は最後に前で発表することになることを伝える。)</p> <p>ALTにより、前時の授業で学んだ内容を英語で理解させる。</p>	<p>付箋と用紙を各グループに配布。</p> <p>用紙は、展開①と②の2枚</p> <p>ALT作成のPPTとワークシート</p>																		
展開1 (10分)	<p>2.動画を2本見る。</p> <p>「内容が訴えていることはわかりましたか？」 「感じたことをグループで話し合ってください」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界が違いすぎる(アデュちゃんに対して) ・私たちとどう関係するのか? ・食べ物を無駄にしないようにしたい。 ・食べ物を届けるにはどうしたらいいか? <p>生徒は話し合いの中で、意見は付箋に書いて貼ることで、意見を記録する。</p>	<p>世界に目を向けさせる</p> <p>各グループで、意見を言うことで、各自の考えを共有する</p>	<p>①SDGs Club 「行動する子供たち(南スーダン: 栄養不良から回復したアデュちゃん)」 (南スーダンでマラリア等で深刻な栄養不良となったアデュちゃんが支援によりの回復する様子を伝える。)</p> <p>unicef.or.jp/kodomo/sdgs</p> <p>②地球ひろば SDGs 動画シリーズ Goal2「飢餓をゼロに」 (日本の食糧破棄量は世界で不足している食料の2倍であることなどを解説)</p>																		
展開2 (15分)	<p>3. 「テキストの"Is there enough food for everyone?" と "No one will be happy until everyone has food to eat."の意味を考えるために資料の写真をみてください。」</p> <p>「日本の食糧自給率を知っていますか？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知らない ・家庭科で習った <p>生徒の発言が日常の食べ物の話に注意が向く</p> <p>「資料をよくみてください。」</p> <p>「考えたことを付箋に書いて、用紙に貼ってください。」</p> <p>「周りの意見を気にせず、たくさん書いていきましょう。」</p>	<p>グループごとに発言できているか机間巡視</p> <p>必要があれば、タブレット端末を使用する(情報収集のため)</p> <div data-bbox="853 1814 1093 2072" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>資料5 食料価格高騰の原因</p> <p>先進国、新興国 → 先進国、新興国が輸入を続けると、世界の食料価格が上昇します。</p> <p>先進国は食料の自給率が高いので、食料の価格高騰にあまり影響を受けません。新興国は食料の自給率が低いので、食料の価格高騰の影響を受けやすくなります。</p> <p>食料の価格高騰の大きな原因の一つは先進国や成長著しい新興国が食料増産のために輸入していることが挙げられます。日本と同じように、新興国でも人々の食生活は変化しています。例えば、中国では畜産原料の大豆の輸入量が10年間で9倍に膨れ上がりました。</p> </div>	<p>https://www.youtube.com/watch?v=ogKaa2TbpBY&t=1</p> <p>展開2の主な資料 (印刷して、配布)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の食糧自給率の資料 <div data-bbox="1117 1825 1436 2027" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>日本の食糧自給率は低い</p> <table border="1"> <caption>日本の食糧自給率は低い</caption> <thead> <tr> <th>国</th> <th>食糧自給率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>USA</td> <td>264</td> </tr> <tr> <td>UK</td> <td>225</td> </tr> <tr> <td>France</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>China</td> <td>127</td> </tr> <tr> <td>India</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td>Japan</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>EU</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>日本</td> <td>38</td> </tr> </tbody> </table> </div>	国	食糧自給率 (%)	USA	264	UK	225	France	130	China	127	India	95	Japan	65	EU	60	日本	38
国	食糧自給率 (%)																				
USA	264																				
UK	225																				
France	130																				
China	127																				
India	95																				
Japan	65																				
EU	60																				
日本	38																				

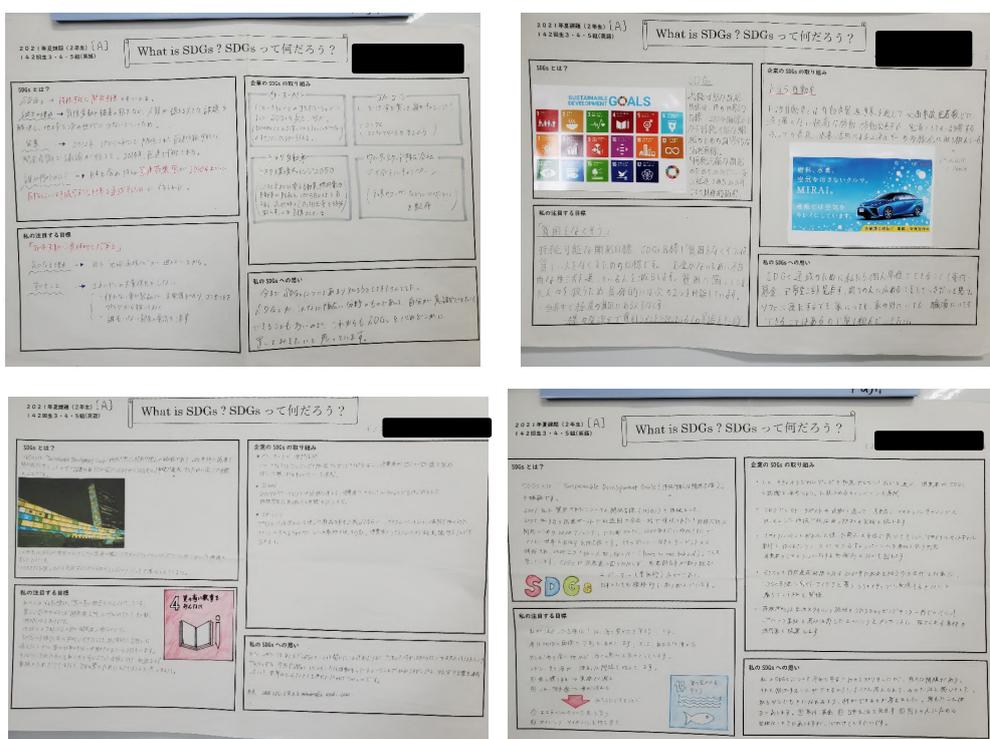
<p>「正解を出すことではないので周りを気にせず色々な考えを出してください」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品ロスはもったいない。まだ食べられる。 ・アフリカの子どもの写真を何故撮ったのか。 ・この子供はどうなったのか。 ・オリンピックの弁当破棄はオリンピックの精神に反する。 ・弁当は破棄するなら、無料で配ればいい。 ・日本の余った食べ物をアフリカに送ればいい <p>まとめ (5分)</p> <p>4.意見の整理をする 「付箋の意見を、『感想』と『行動』に分類していきましょう」</p> <p>意見を整理することにより、グループ内の意見を共有する。 「意見の整理の途中で新たな意見を書きたくなれば、書いてもいいです。」</p> <p>(8分)</p> <p>5.各グループでの意見を『感想』と『行動』に分けて、全体に対して代表者が発表する。</p> <p>本日の学びの振り返り。一人 30 秒で発言（グループ内）。</p> <p>「改めて、「飢餓をゼロに」のために、何ができるでしょうか？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食べ物を大切にしないといけない ・無駄をなくすことが世界とつながる ・私たちが無駄をしないことが本当に飢餓をなくすことにつながるのか <p>次回に向けて (4分)</p> <p>今日は世界の飢餓問題を学びました。次回はまとめとして、私たちにできることを考えます。 「日本での『飢餓をゼロに』についての取り組みはどんなものがあるか調べてきてください。企業や個人や団体で行われているものや、自身が進めたいことでも構いません」</p>	<p>資料の説明を補足する。</p>  <p>2021年8月27日、東京オリンピック・パラリンピック組織委員会は、2021年7月3日から1ヶ月間に、20会場で、およそ13万食の弁当を廃棄していたことを認めた。20会場で準備していた食料のうち、およそ25%を廃棄したことになる（廃棄率25%）。2021/08/28</p>   <p>発表者と付箋を貼った用紙を持つ2名が前に出て、発表する。</p> <p>アフリカの子どもの写真</p>   <ul style="list-style-type: none"> ・JICA 「共につくる私たちの未来」 pp8-9
---	---

<p>評価規準に基づく本時の評価（評価方法）</p> <p>SDGs の課題「飢餓をゼロに」をテーマに、動画を見ることや資料を読むことで理解を試み、積極的に、自分自身の生活や行動に結び付けて考えることができているか。また、地球規模の視点から問題意識を持つことができているか。（発表、ワークシート）</p>
<p>10. 学習方法および外部との連携</p> <p>グループでの話し合いはあまり活発には行っていなかった。それぞれが意見を出すことで、アイデアや思考が広がることを実際に経験し、楽しめることを期待したい。さらに今後の方向として、英語でのやり取りとして、簡単な発言でもグループでの活動ができるように経験を重ねさせたい。</p>
<p>11. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取り組み</p>

【自己評価】

<p>12. 苦労した点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGs に関して、商業科の授業などで聞いたことがあるが、地球規模の課題であるということに関して知識が乏しい生徒が多く、基本的な前提の説明で時間がかかった（例えば、食料自給率とは？・・・）。 ・グループワークの経験が他教科でも少なく、話し合いの場面での学びをねらいの1つと考えていたが、授業者の発問や問いかけ、指示を明確に伝える必要を痛感した。生徒の反応を考えて、指示をしないと、授業は創れない。 ・付箋に意見を書いていくグループワークでは、意見がスムーズに出せる班と、そうでない班ができた。「何を書いたらいいかわからない」と言う生徒に対しての、働きかけが、ある意味、答えの誘導になってしまった。授業力をつける必要を痛感した。 ・SDGs は理解できても、Sustainable Development Goals と英語になると結びつかず、理解が止まる生徒が少数であるが、いた。英語教材として、SDGs の内容を理解し、それを踏まえて、地球規模の課題について、英語を通して考えるには、英語の基礎力が必要であり、そこまでは踏み込めなかった。
<p>13. 改善点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・【夏休みの課題として、SDGs に関連する英文を読む。⇒ SDGs について、自分で調べる。⇒ 教室での成果物の発表。⇒ 今回の単元学習】というサイクルの基礎を作ることができたと考えているが、英語科のみで実施するのではなく、本校では「総合的な探究の時間」が商業科の課題研究となっているため、LHR や他教科を合わせて、教科を横断的に活用していくことを考えたい。 ・今回の単元で4時間では、英語教材の理解が不十分であった。英文テキストの内容理解に最初に1時間使うべきであった。 ・4回目の「まとめと振り返り」で、もう少し活発なグループ発表ができるように、教師の側の工夫が必要であった。せっかくの、付箋での意見などを書き込んだ成果物を全体でうまく共有することができなかった。

<p>14. 成果が出た点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒たちが、自分の生活する世界とは異なる世界に気づききっかけをつくり出すことができた。 ・SDGs が地球規模の課題であるということを生徒は少なからず実感し、自分たちの生活が普通ではないということを感じることができた。 ・視聴動画は 4 本、加えて、食料自給率のに関してや飢餓の写真を紹介し、説明したが、特に動画のインパクトは強く、生徒の視野を広げることに役立った。 <p>生徒の感想より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自分が思っていたより、世界は大変なことになっていると改めて感じた。」 ・「日本にいるからあまり考えたことはなかったけれど、貧困で、苦しい思いをしている人が世界にはたくさんいて、食料があったり、満足できる幸せな暮らしができていることは当たり前ではないと気付きました。」 ・「世界には、日本では考えられないようなことが問題になっているのが、悲しかった。」 ・「少しひどい言い方かもしれないけど、ぼくは、1人何かしても変わらないと思うし、こういう考え方をする人は多くいると思うから、1人1人に意識させることが大切だと思う。」 ・「様々な問題に対して『知ること』。これは、一番最初に自分ができることだと思います。様々な問題について、まず知ること、自分で行動に移すことができたり、人に伝えることもできるので、大切なことだと思います。」 ・「今の生活がどこに行っても普通だと思っていたけれど、私たちの思う普通がそうじゃない国があるのだなと思いました。食べ残しなどで何も考えずにしている時があったので、これからはやめないといけないと思いました。」 ・「動画を視聴できて、おかげで、SDGs のことをもっと知れた。」
-------------------	---

<p>15. 学びの軌跡 (児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど)</p>	<p>①夏休みの SDGs 課題より (生徒の成果物の一部)</p> 
---	---

上記のものは、よく仕上げているものであるが、概して、SDGsのことは、聞いたことがあるという程度の意見が多かった。

②本時（3限目）の授業でのグループワークでの付箋を使った活動

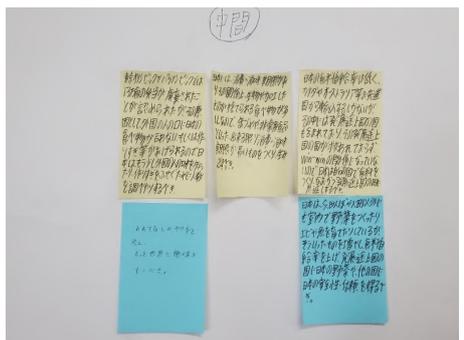
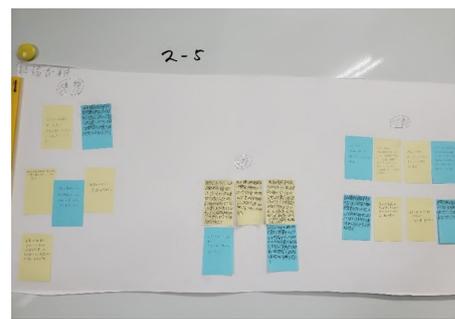
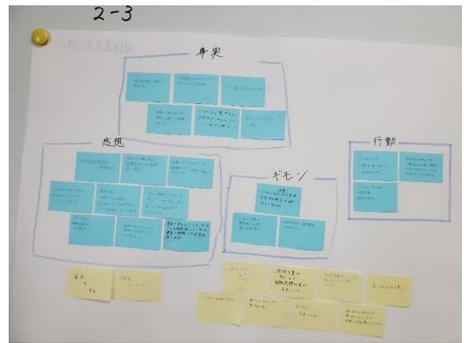
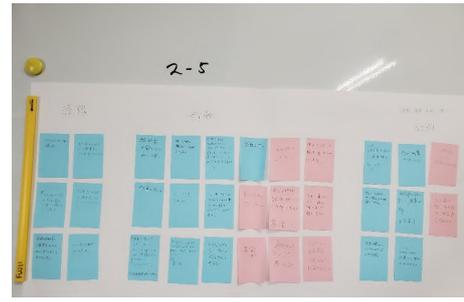
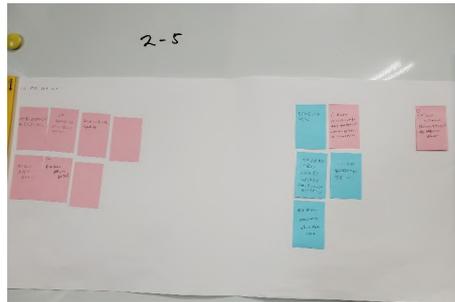
付箋に各自が書いて貼っていく内容は、以下のように指示した。

動画や資料の写真を見て、

「自分が思った感想」

「この現実に対する疑問」

「この現実に対して何ができるか？」



	<p>付箋の色の違いは、4回目のまとめの時に3回目（本時）の付箋の内容に関して、「できること」や「意見」などあれば加えていくように指示した結果である。また、3回目の活動でバラバラに配置された付箋を、4回目に「知った事実」「感想」「疑問に思うこと」「自分にできる行動」などにグループ化を図り整理していくように指示をしていたため、それに基づいて、各班で付箋の位置を変えていった。各班のこだわりが、付箋の並べ方に反映している。</p> <p>付箋には、ぎっしり意見を書いていく生徒もいれば、一言、キーワードを書いていく生徒もおり、自由に書いていた。動画から得た情報の影響は強く、フードロスの問題から、食べ残しをやめようや、ユニセフの支援を知り、ユニセフなどの募金なら自分でもできると考える生徒が多く見られた。</p> <p>今回は、「飢餓をゼロに」がテーマであったが、「貧困」と結びつけて、自分の身の回りの問題として、「ジブンゴト」と考える言葉が出てきていた。</p>
16. 授業者による自由記述	<p>SDGs に関しては、商業科の課題研究などで取り組まれている現状があったが、地球市民教育の視点が薄く、何故必要なのか、私たちと世界はどのようにつながっているかという考えを伝えていく必要があると感じている。生徒は、伝えられた情報を素直に吸収するというところを今回の取り組みで強く感じた。授業をいかに組み立てて、何をどのように彼らが学ぶのかを綿密に計画していくことで、彼らの世界に対する視野を広げることができる実感したし、責任を感じた。今回は授業者が担任クラスを持たないため、英語科の授業の中で実施したが、より効果的な取り組みにするためには、LHR や「総合的な探究の時間」の中でする方が広がりを持つだろう。また、各教科でバラバラに、SDGs の取り組みをしても、生徒の中では繋がりにくい。今後は、学校内で、他教科と連携を取り、教科を越えて連携し、国際理解教育を進めていくことで、自分の世界とは異なる世界で生きている人たちに思いを寄せることができる、「グローバルリーダー」ではなく「グローバルな視野を持つ人」を育成していきたい。</p>

参考資料：

JICA 「共につくる私たちの未来」

国連広報センター 「持続可能な開発目標：誰も置き去りにしない」

<https://www.youtube.com/watch?v=yEQJzdrYIcM>

「国連 SDGs って何だろう」（日本語） <https://www.youtube.com/watch?v=UoCaAKgFk64>

Hunger Map (2020) <https://www.wfp.org/publications/hunger-map-2020>

[Champagne Glass Distribution of Wealth - Graphic Sociology \(thesocietypages.org\)](http://thesocietypages.org)

WHAT'S UP? for SDGs [BASIC] 室井美稚子 著 桐原書店(2021)

SDGs Club 「行動する子供たち」 unicef.or.jp/kodomo/sdgs

JICA 地球ひろば SDGs 動画シリーズ Goal2 「飢餓をゼロに」

Today's Topic

これまで2回の授業でSDGsの「Zero Hunger」について学んできました。今日は次の内容でさらに深めていきます。

- ①Athenaさんの資料で飢餓について英語で復習します。
- ②2つの動画を見て世界の問題を見て・知って・考えます。
- ③紹介する資料をもとに、日本の、私たちの課題を考えます。
- ④自分で考えたことをグループ内で出し合い共有します。

ZERO HUNGER

飢餓をゼロに

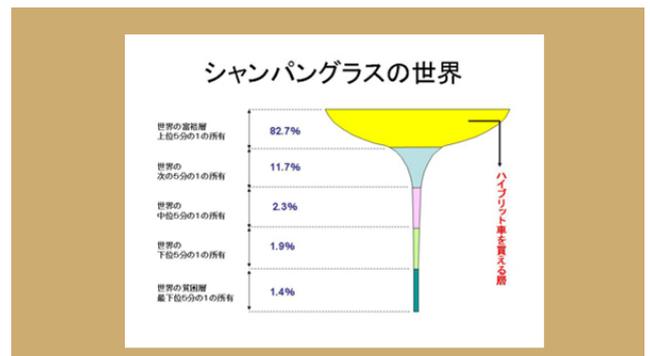
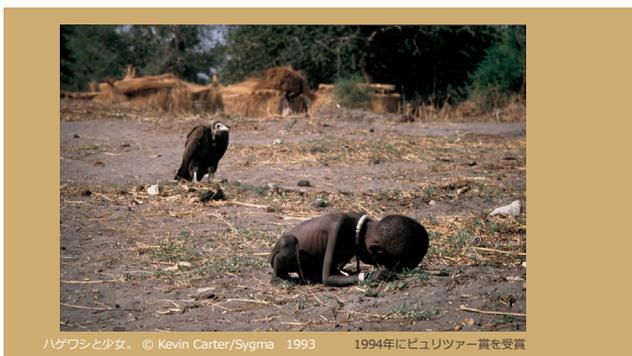
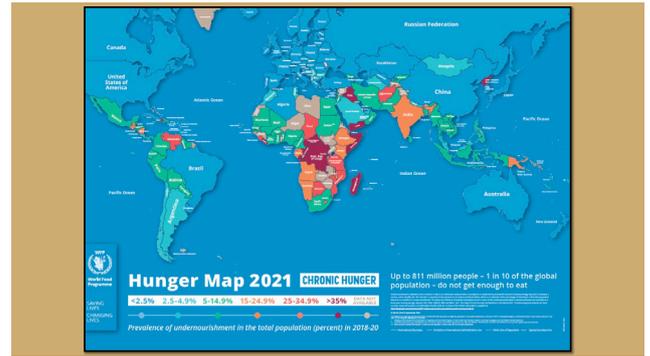
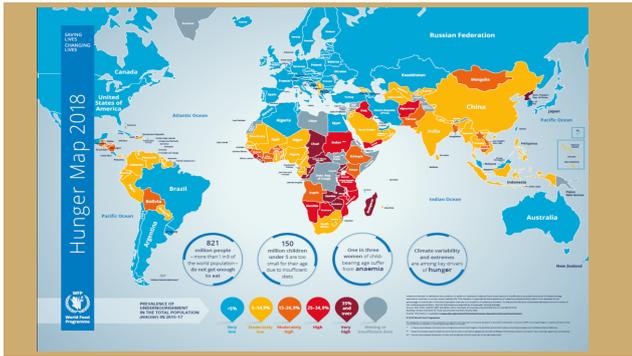
**Is There
Enough Food
for Everyone?**

**No one will be happy
until everyone has food
to eat.**

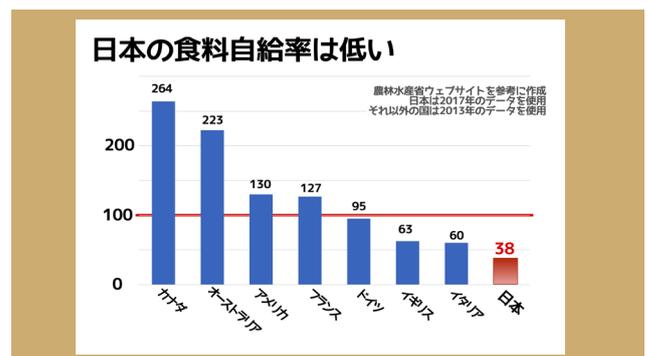
**During the coronavirus
pandemic**

**No one will be safe
until everyone is safe.**

Leave No One Behind

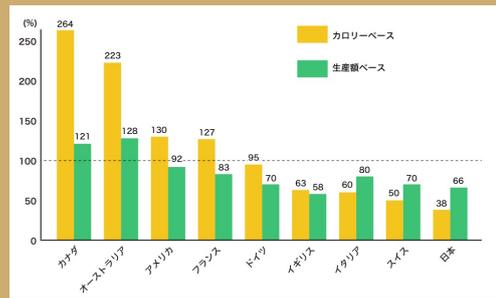


No one will be happy until everyone has food to eat.



食糧自給率とは Food self-sufficiency rate

我が国の食料供給に対する国内生産の割合
国内で消費が考えられる量のうち国内で
どれだけ生産されているかを示したものです。
100%に満たないということは、海外から
輸入しないとイケないということです。



資料：農林水産省『平成29年度食料自給率について』より作成



2021年8月27日、東京オリンピック・パラリンピック組織委員会は、2021年7月3日から1ヶ月間に、20会場で、およそ13万食の弁当を廃棄していたことを認めた。20会場で準備していた食料のうち、およそ25%を廃棄したことになる（廃棄率25%）。2021/08/28

付箋に書くこと

動画や資料を見て：

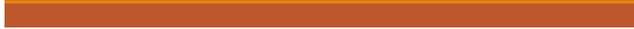
- ①自分が思った感想
- ②この現実に対して何ができるか？
- ③この現実に対する疑問

ジブンゴト化

授業用資料 1, 2 の出典
室井美稚子（2021）What's Up? for SDGs[Basic] 桐原書店

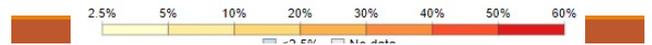
SDGs: Goal 2 Zero Hunger

ATHENA HU



Today...

- ~800 million people suffer from hunger (2020)
- 150 million are children under 5
- 3 million of those die from starvation a year



What Drives World Hunger?

Climate Change

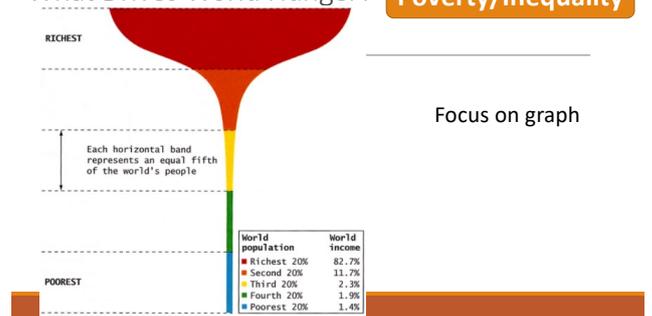


Severe drought
↓
Lack of rain for crops
↓
No food



What Drives World Hunger?

Poverty/Inequality



What Drives World Hunger?

War & Conflict



SDGs Goal 2 End



Critical Thinking

How has the pandemic impact world hunger?

How has world hunger changed in the last few years? Do you think it has improved? Explain why.



Now It's Your Turn!

Where have you seen the impacts of hunger in your life?

What changes can you make in your habits or community to support ending world hunger?



What is SDGs? SDGsって何だろう?

()組()版 名前()

SDGsとは?

企業のSDGsの取り組み

私の注目する目標

私のSDGsへの思い